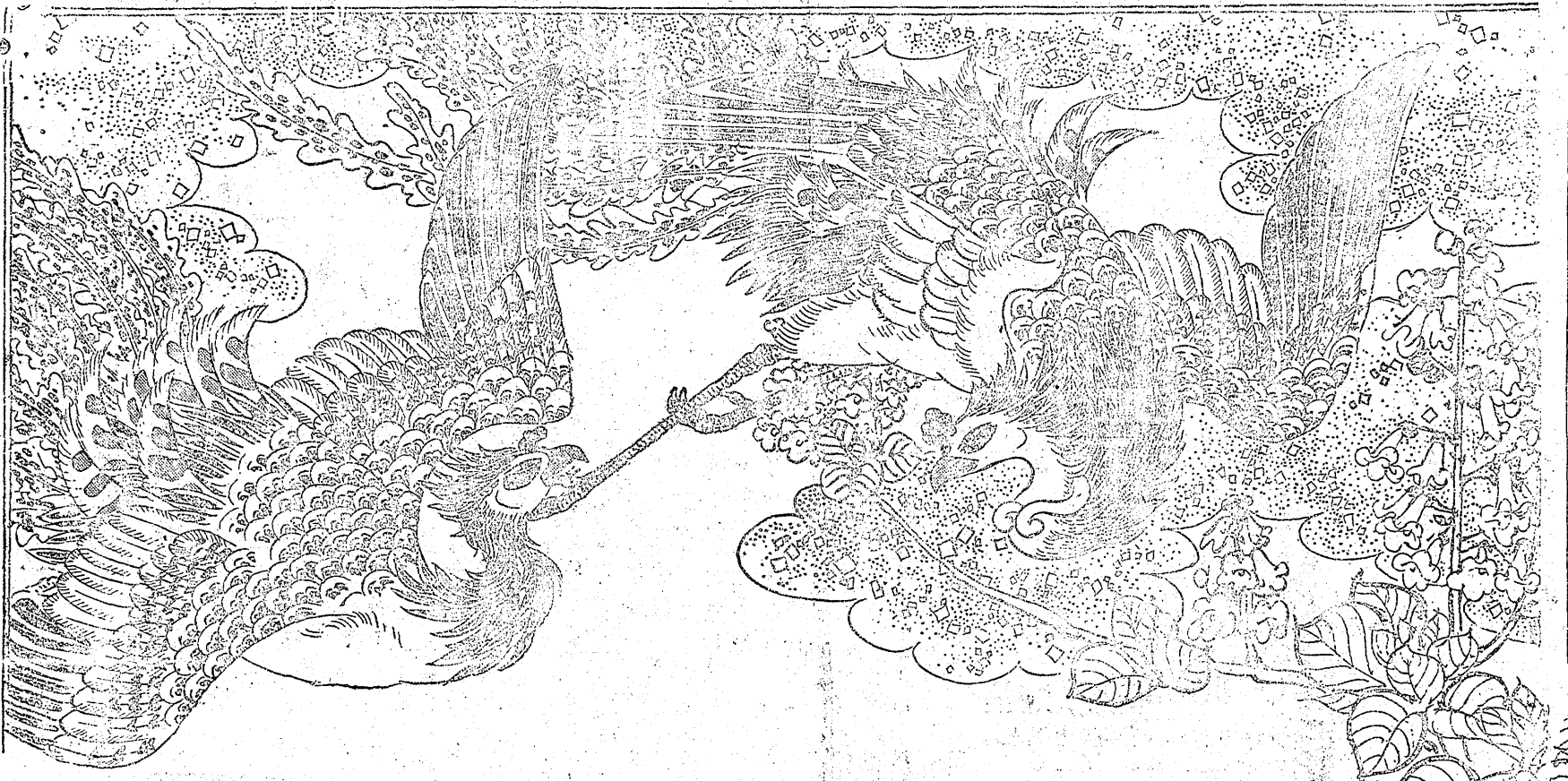


（日一）

磐城新聞

休刊 大祭第一、第三日曜
 定價 壹枚二錢、壹ヶ月
 五十錢、郵費十錢
 廣告料（雜報欄行五十錢）
 發行所 磐城新聞社
 編輯 逆沼 龍輔
 印刷所 磐城新聞社
 發行所 磐城新聞社



謹賀新年

新年の辞

新年は目出度ふと言ふ、それは只だ口でさう唱ゆる丈でなく、誰れでも目出度い様な一種の氣持に裏はれるに相違ない、年が明けたからと言つて、元旦早々から鬱ぎ込む人は先ず無いと見做して好からう。けれ共新年が何故に斯くばかり御目出度いのか、其の原理を研究した人も少なからう。尤も考究して、然る後にお目出度がる必要もないので、只た何んぞなく目出度がる習慣になつては居るが、考へて見るに其處には必ずそれ相當の理由がなければならぬと思ふ。

一月一日と言ふのは、十二月卅一日の翌日の事で誠に平凡、其處にはさう考へた處でお目出度い原素は潜在してゐない、又年が改つた處で果して其の年が好い年であるか、去年より更らにウダツの上らない年になるのか、其の邊は見當が付かない、随つて新年即好年と云ふ意味にはならないが、其處で思ふのである、それは正月と云ふ月が一年十二ヶ月中での特種月であると言ふ事だ、而して其の特種の内容が假令瞬間的にもせよ人心から物質慾が游離するに云ふ事である、此の奇蹟的現象は正月一杯持續されるものでないが、尠くも松の内位は物慾も其の影をひそめる。

物慾のクライマックスは十二月卅一日、即ち大晦で、此の一日は實に百鬼夜行の人間界を現出する、債務者に取つては債權者が鬼に見ゆ、債權者自身も鬼になる、處が一夜明ければ元旦で鬼も變じて恵比壽となる、蓋とお目出度き所以此處に存するものと見てよからう、して見るに人間界を正月氣分にする事は詰る處ろ、鬼の恵比壽化にあるので然も其れが物慾游離に起因するにすれば必然の道理として官制た正月が可能となつて來る、即ち銀行が潰れた時モラトリアムを實施した様に、時々其の筋から物慾游離令を發布する事だ、そしてつとのお目出度い正月を殖やしたら貪乏人の命が延びて行く事であろう。

元旦

磐城新聞社同人

石城銀行組合

磐城銀行

平銀

磐越銀行

磐城實業銀行

磐東銀行

四倉銀行

七十七銀行平支店

第七十七銀行平支店

農工銀行平支店

常磐銀行出張所

いはらき新聞平支局
柏木哲

中野甲藏

小名濱漁業組合
組合長 立花雄七

山崎吉平

平町三丁目
三井吳服店
電三八番

伊東一

阿部政右工門

新春を祝福す(上)

遙かに昭和參年を想ひ 大和田 豊吉

明けまして新年誠にお喜び申すために堂上方の人出たり、御詞様に昨年は、...

一月正のルーガナーダモ画



なる豊帝に對して祝 九重雲深き雲上にまします 皇太子殿下の御性格のす...

又八田田知紀 歌に 新玉の年立つ今日は 心さへ身さへ昨日の...

新年に精進し猛進する所すれば愚年を過ぐるの實 萬國を和合し、嗚呼我國の...

謹賀新年

- 平消防組 組頭 井上茂作 部長 石坂隆太郎...

- 御料理 大和家 平町南町(電一四番)

- 會田時計店 平町四丁目(電三六三番)

- 平町醫師聯合 星眼科醫院 大森醫院...

- 赤心堂 鈴木眼科醫院 鈴木眼科醫院...

- 草野染工場 平町字鎌田町 電三四八番

- 磐城炭礦 警炭會長 若松惣太郎

- 磐城病院 平町電話百十四番

- 御料理 玉よし 平町電話四二三番

- 百澤商店 平町電話二二番

- 高野分店 平町田町(電話五一五)

- 高島屋洋服店 平驛前電八〇七番

- 尾形治右工門 洋時計 大谷時計店...

- 大谷久藏 有限責任平町信用組合...

- 平町才植小路 美術造花製造 神佛祭具 博盛堂...

- 釜屋 諸橋久太郎 電話九番一三九番

- 平藝妓屋組合 岡田牛乳舎...

- 馬目玉彌商店 電話米穀用百〇一...

- 御料理 住吉屋本店 常磐線平町紺屋町...

- 旅館 内湯 湯本町電五番

- 平町會議員一同 平町料理屋組合...

- 山田忠太郎 平町三丁目

- 石城 產科婦科學校 校長 鷹崎 貞衛...

- 會我物語 月雪花 時建久四年の春五月富士の朝霧を破つて工藤の狩...

- 萬花多寶塔 小枝角太郎は切つて逃る、神木坂の危急...

- 有聲座 三十一日より (料金を普通にて) 電話四四六番

新春四日の早朝に 平消防出初式

諒闇明け賑々しく 吉例の梯子乗り

平消防組では新春四日早朝から恒例に依る出初式を盛大に挙げる事となつた。前年は諒闇中のため華々しい出初式もなかつたが今年には諒闇明け第十一年で御大典を控へて居るので消防幹部は勿論組織力増進を期して當日を待ちあぐんで居る。久方振りで新春の中天に火龍躍る杜観と精練された梯子乗りの放れ技が演んせられるであらう。

小名濱町の 大祝賀式

非常の盛會

小名濱町では商港案が本縣で通過大快する五月上旬より起工する事となつたので今日まで此の運動の爲め幹事委員の努力を續けて来た。鈴木町長高木助役外町當局並に前縣議小野晋平氏議員一同に對し町民有志發起の許に舊う二十九日午前九時より全町民數百名の前記諸氏を公會堂に招待し慰勞を兼ねた大祝賀に招待する町民の面になつた。喜びにあふれ近頃の盛會であつた。

米價維持に 農會の斡旋

石城郡地方に於ける米價維持に農會が積極的行動を起して居る。今までの例に依れば例年極端な暴落を起す事はないが、本年は例年より一ヶ月ほど早く新米が上市する事になり、農會は先づ米價の暴落を防止する爲め、各町村農會に左の如き通牒を發した。



ネライを
羽根を
また
落とす

川前は無首

結局事務管掌
草野村役場
草野村下神谷赤沼篠崎庄藏さんと云ふ當年七十三才の老人は成心補選家である。此の程同村長高岡唯一郎氏より納税成績優良の褒め状を授けられた。



パソコン
髪を
羊の
客

元日から一週間位 至極平靜な天候

測候所の觀測

寒さは一月から

元日から一週間位、至極平靜な天候が續いて居る。測候所の觀測に依れば先づ一月から一週間位、至極平靜な天候が續いて居る。測候所の觀測に依れば先づ一月から一週間位、至極平靜な天候が續いて居る。

先年と同數

年賀郵便は 平局で反豫想

平郵便局で舊臘諒闇明けの廿五日から特別取扱を爲し、年賀郵便は平年より十日遅れて開始し、廿五日開封。口までには受付約十萬通で、昨年の約半數にしか達せず。廿九日の切手までは總計卅萬通で、一昨年と殆んど大差ないが諒闇明けの第一年であり、今夏の總選舉を控へて或は七八十萬通を突破するであらうと豫想して進んで居る。

精農家受賞

草野村役場
草野村下神谷赤沼篠崎庄藏さんと云ふ當年七十三才の老人は成心補選家である。此の程同村長高岡唯一郎氏より納税成績優良の褒め状を授けられた。



ラブラ
宛あし
書き
春の宵

謹賀新年

謹啓陳者本港修築の件各位の深厚なる御同情に依り今回満場一致縣會を通過致し候段衷心感謝に不堪候。尙將來共一層の御援助を相仰度先は乍略儀に紙上御禮申上度如斯御座候。敬具
昭和二年十二月
小名濱町長
鈴木榮

四倉銀行會社組合

四倉電氣株式會社
四倉合同運送株式會社
磐城銀行四倉出張所
株式會社四倉銀行

磐城小名濱港
磐城水産工業株式會社
社長 小野晋平

磐城小名濱港
小名濱商事株式會社
社長 小野晋平
事務 小野務平

磐城小名濱港
磐城海岸軌道會社
社長 中野浩忠
支配人 丹野寛平

磐城平町七丁目
工藤鑄造所
主任 工藤源吉

四倉電氣株式會社
社長 新妻盛
外職員一同

玉川村役場
永井臆彌
鈴木平九郎
外吏員一同

夏井村役場
根本莊橘
外吏員一同

夏井村消防組頭
矢吹豊

植田郵便局長
馬上守一
木炭輸出商
渡邊重三郎
常盤線植田町

平製氷株式會社
事務取締役 加納五郎

小名濱消防組
組頭 小濱長太郎
平町四丁目
磐城工業商會
佐々木健一郎

土木請負 強口唯七郎
好問村關ノ上
電話四〇一
植田町 電話五九番

文房具下 小宮山書店
植田町

小名濱小學校長
西山直三郎
外職員一同

近藤安雄
磐城小名濱港

鐵道省御指定
旅館 尼子亭
平町松ケ岡公園
電話二三〇番

尼子自動車部
停留所 平町三丁目
電話呼出 一六番

平町二丁目(電一六番)
關内油店
店主 關内正一
須藤德雄
小川郷福島炭礦

吉田正雄
石城城江名町
平町四丁目電一八
機械 磐城工業商會
中村佐治助

現物 駒場株式會社
電話四六五番

四倉町役場
町長 杉原新吾

小原長英
七十七銀行平支店長

石城酒造組合長
永山和平

河西八十治
農工銀行平支店長

伊藤儀七

石城酒造組合
小名濱支部
草野良太郎
近藤安雄
吉原彌平
佐原興平
小野晋平
柳野ユウ子
齋藤末次郎

常盤工業株式會社
事務 加藤新
磐城共濟病院
院長 難波睦
共濟會長 加澤忠治
湯本信無盡株式會社
湯本町電四七番



大倉礦業株式會社
無煙炭礦

所長 漆野 佐市郎
坑務課長 尾藤 憲祐
經理課長 和泉 隆介
勞務課長 高橋 榮雄
茨城縣多賀郡

茂尻炭礦

所長 漆野 佐市郎
總務 務林 啓一
北海道空知郡

沖見初炭礦

所長 漆野 佐市郎
總務 高橋 岩太郎
山口縣宇部市

吉本眞一
東京市 麻布區霞町

阿部 吾市
府下 大森町

阿部 寛
府下 大森町

山東礦業株式會社

支配人 太田 文雄
東京市丸之内工業ビル

氷室 清
東京市本郷區神明町

入山採炭株式會社

東京市銀座(大倉組)

小田炭礦株式會社

社長 萩原 申八

磐城炭礦株式會社

內郷鑛務所
茨城鑛務所

立國勞働自治會
入山採炭株式會社

建國勞働自力會
大倉礦業株式會社

福島炭礦株式會社
福島縣赤井村

中島礦業株式會社
社長 中島 德松
福岡縣福岡市

高野 喜六
福岡縣嘉穂郡

宮崎 政雄
福岡縣嘉穂郡

合同殖産株式會社
平町南町
社長 大和田 與平

町長 河野 嘉藏
石城郡江名町役場
外吏員 一同

丸山 慶治
土木建築 請負業
福島縣平町

新館
常盤線平驛前
御旅館 丸新館
電話 二二二番

好間 小學校
職員 一同

織田自轉車店
平町南町(電五三三)

色川材木店
平町才地小路(電三四二)

四倉漁業組合
組合長 長谷川寅次郎

豐間村役場
村長 志賀 兼吉
助役 鈴木藤次郎
外吏員 一同

平町新田町
御料理 初音
仕出し
電話 二二二番

三井履物店
平町字二丁目
電話 一五六番

會川活版所

平四丁目目横町通



日英米佛獨專賣特許
ヤマト醬油株式會社
社長 白井 一郎
專務 遠藤俊一郎
電話 平七四一、江名二七

西村屋藥舖
平町二丁目
電話 三三番

加藤 丈夫

磐城建物株式會社

高久病院
院長 高久 忠
電話 五一三番

岡山重喜
小名濱縣會議員
小名濱消防組會計

平砂糖商組合

三井自動車部
三井 富吉

株式會社星製藥磐城配給所
ホシチエンストア平支部
專務 駒木根 忠三
電話 四二九番

大床石崎 幸一
平町田町 電七二九番

數之

猪狩菊三郎
平町字田町電四七三番

三三三屋肉店
平町田町 電三三三番

紅屋小鳥店
內外飼鳥 特選餌糧 飼鳥用具 附屬一切
白土 喜伯

吉田女髮結所
平町字新田町
吉田 八三

磐城小名濱港
場長 飛塚 高次
御料理 新米
電話 八三番

常盤線植田町
公設 植田蘭市場
電話 一八番

日活平館
松竹 平館
電話 四六六番

館主 松田卯次郎
會計 鈴木彌次郎
石井 孝
山田 樂遊
小林 樂遊
三浦 秀雄
南 桃華
渡田 富太郎
山村 榮太郎
安部 明遊
安部 明遊
村屋 十彌
村屋 十彌

二葉舎印刷所
平町 電七三四番

平町三業保健組合
芹澤自動車部
芹澤 正忠
平町南町 電八一六番

好間村役場
村長 金成 淺治

石城郡高久村役場
村長 鈴木喜太郎
助役 箱崎 武郎
收入 猪狩 千代
書記 藁谷 明

小名濱町役場
町長 鈴木 保榮
助役 高木 保榮

坂本紙店
平町三丁目
電話 一八番